

「鶴」の恩返し

「鶴フェス」開催！鶴ヶ島初の野外音楽フェス



音楽が上がる
まち×ひと×こころ



齊藤市長と鶴ヶ島トークで盛り上がる
「鶴」の3人(左から神田雄一朗さん・
笠井“どん”快樹さん・秋野温さん)



昨年9月、市のふるさと応援大使に就任した、鶴ヶ島西中学校出身の3人組バンド「鶴」が就任当時「夢」と語っていた「鶴フェス」を今、実現させる彼らの想いに迫ります。

「鶴」×鶴ヶ島

ふるさと応援大使として、鶴ヶ島をPRしながら47都道府県ツアーを行った「鶴」。行く先々で様々な力タチの地元愛に触れ、生まれ育ったまちや、地元愛からつけたバンド名に愛着と誇りを深めたと言います。

笠井さん「結成から16年、地元への恩返しとして、今の自分たちができることを考え、辿り着いたのが「鶴フェス」でした。ただの音楽フェスに留まらず、地域の活性化や交流の場になればと思っっています。市長には、『まさか本当に実現させるとは！』と驚かれましたが(笑)」

おいでよ、鶴ヶ島に

神田さん「協力してくれるお店の皆さんからは、たくさんエネルギーをもらいました。一緒に盛り上げようと言ってくれて、これを機会にぜひ鶴ヶ島に来て、市内の飲食店などにも寄ってもらいた

い。来年開催の『脚折雨乞』はもちろん必見です」

そして、その先へ

秋野さん「市民の皆さんにも全国から集まる僕らの仲間やファンの姿を見てもらいたいです。こんなに熱い人たちがいるんだって。そこで何かが生まれ、次の出会いにつながったら、「鶴フェス」をやった意味があるし、僕らが音楽を続ける意味があると思っています。これからも「鶴ヶ島の鶴です！」と叫び続けたい皆さん、遊びに来てください」

入場無料！

『音楽を通して、子どもから大人まで楽しめるイベントに』という想いから入場は無料。「ふわふわドーム」や「つるゴン」ステージのほか、様々な模擬店が出店。さらに「鶴ヶ島ふるさと音頭」も皆で踊ります♪ ※会場に駐車場はありません。①市役所②若葉駅から有料シャトルバス(予約優先①200円②500円)をご利用ください。



詳細はこちら



編集後記

今回は東京オリンピックに向けたミャンマー選手団の事前キャンプを取材しました。穏やかで優しさあふれ、人懐っこい笑顔のミャンマーの方々に、こちらもしっかり魅了されました。これからもミャンマー選手団を応援し、東京オリンピックを盛り上げていきましょう！
ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp



やましたとあ
山下桃愛(1歳7か月:中央)
愛菜(3歳:左) 維仁(5歳:右)
“私も自分で歩けるよ♪”



笑顔の天使



応募はこちら



ちい
地井ゆづり(1歳)
“初めてのお祭り
わっしょいっ!”

